

【22_269技術系メルマガ】目線は「合わせる」ものではなく『決める』もの

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

僕のテクニカル分析の基本は、『H1足の波の切り返し』を狙うので

H4足以上の環境で『空間』を探し、H1足のグランビル・トレンドで『目線』を決め、M15足以下のセットアップ(パターン)を組み合わせることで、テクニカルの一貫性を持たせています。

この『目線』を決めるという点で、何かと誤解をされることが多く

一般的に僕が「目線をどうやって当てているのか？」と不思議に思われているようです。

ですがこれは本当に誤解で、僕は前もって相場の動きを「読めている」訳ではありません。

というか、どんな分析技術を用いても『相場の不確実性・確率論的思考』から考えれば、そんなことはできないのです。

今日のメルマガでは、もう少しこの点を深掘りして解説します。

□
■ 『目線』も『セットアップ』と同様、自分で『勝手に決めている』

これはトレードを『一貫』して行う上で非常に重要な考え方なので何度でも説明したいのですが。。。。

H1足を使った僕の目線の捉え方(【236】通目参照)は、あくまで僕が認識するトレンドとグランビルを基に

『この方向に行くならトレードする』と、僕自身が『勝手に決めている』だけです。

▼先日のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1572162410592751618?s=20&t=Bo2Rkj9EEr4LVmi-6Uu5lg>

以前、Twitterでも少しボンヤリした表現で書きましたが

この『自分で決める』という考え方が、トレードに一貫性を持たせる上で最も重要な要素のひとつと言えます。

要は、この『決めごと』に一貫性があれば、相場の動きが一致した時には利益になる確率が高くなるので、そちらにリワードが偏るように働きかける。

逆に相場と合わないのであれば、見送り・建値撤退、もしくは小さな損切りで済ませ、また次のチャンスに備える。

僕のトレードも、ただこれを繰り返した結果として、トータルの利益がプラスになるように『型』を調整・改良した結果を享受しているに過ぎません。

あとは、自分自身がどこまでその『型』を信頼し、チャンスが来るまで待ち構えていられるか？

そして、いざチャンスが来た時に躊躇なくエントリーできるか？

この決定力こそが、トレーダー自身の『技術』であると考えています。

先の値動きを器用に読むこと(それが果たして本当にできるのか、僕には分かりませんが)だけが

トレード技術ではないし、それが出来なければ勝てない(利益が残らない)わけでもありません。

相場の不確実性を敢えて受け容れるからこそ、自分の『型』で一貫した『目線・セットアップ』に従う。

それが相場の動きと一致したのであれば、必要分の利益を頂き

違ったのであればあらかじめ決めた通りにすぐ引き揚げる。

トレードというのは、結果としての(利益の)数字合わせをしているうちはいつまでも結果が安定しません。

もちろん、目安とする数値目標(月の利回りなど)はあって然るべきですが

重要なのは、その数字を導くために、どのような筋道で一貫した行動から出した結果なのかです。

この点は、いつも仲間内で良い言語化ができないものかと話し合っていました

最近面白い例えをしてくれた人がいるので、いずれメルマガで紹介したいと思います。